

農林水産商工常任委員会資料

(平成21年6月8日)

項 目

- 1 環日本海圏貨客船航路（日・韓・ロ）開設に係る現状等について
【経済通商総室(通商物流チーム)】……(別紙)
- 2 「とっとり高度人財『燦然』プラン」人材育成研修等の実施状況について
【雇用人材総室(人材育成確保チーム)】…… 1
- 3 職業訓練のあり方検討会の開催について
【雇用人材総室(労働政策チーム)】…… 2
- 4 ソニー株式会社本社への知事訪問について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】…… 3
- 5 次世代・地域資源産業育成事業の実施状況について
【産業振興総室(新事業開拓チーム)】…… 4

商 工 労 働 部

「とっとり高度人財『燦然』プラン」人材育成研修等の実施状況について

雇用人材総室
人材育成確保チーム

鳥取県地域雇用創造協議会が実施している「とっとり高度人財『燦然』プラン」の平成21年度事業計画及び人材育成研修等の募集状況について、次のとおり報告します。

1 全体の事業計画

事業・研修名 《開催回数》	募集人数等 (就職目標)	事業・研修名 《開催回数》	募集人数等 (就職目標)
1 雇用拡大メニュー ⇒ 募集企業数 580社			
(1) 即戦力人材確保事業	40社	(3) 「人財ナビゲーター」派遣事業	40社
(2) 「燦然」人財について語るトップセミナー 《6回程度》	500社		
2 人材育成メニュー ⇒ 募集人数 721人 (就職目標 360人)			
(1) ビジネススタッフ育成研修 《16回》	256人 (128)	(5) アパレルオペレーター育成研修 《6回》	60人 (30)
(2) テクニカルサポート人材育成研修 《7回》	70人 (35)	(6) 機械設備メンテナンス技術者育成研修 《11回》	220人 (110)
(3) 品質工学人材育成研修 《1回》	20人 (10)	(7) IT高度技術人材育成研修 《5回》	80人 (40)
(4) FPD関連エンジニア育成研修 《2回》	15人 (7)		
3 就職促進メニュー ⇒ 募集人数 410人 (就職目標 24人)			
(1) UJIターン就職フェア 《2回》	100人 (10)	(3) 県内求職者向け企業見学会 《随時》	40人 (10)
(2) UJIターン希望者向け企業見学会 《随時》	20人 (4)	(4) 人材育成メニュー参加者向け企業見学会 《随時》	250人 (-)
募集人数総計 1,131人 (就職目標 384人)			

2 人材育成研修等の募集状況 (平成21年6月3日現在)

研修名等(略称)	概要	募集数	応募数
1 雇用拡大メニュー			
(1) トップセミナー	6月2日：米子市(米子全日空ホテル)	-	20社
2 人材育成メニュー			
(1) ビジネススタッフ	西部(情報初級コース) / 6月8日～9月4日：米子市(日本海情報ビジネス専門学校)	16人	55人
	西部(オフィスビジネスコース) / 6月8日～10月2日：米子市(同上)	16人	64人
	中部(オフィスビジネスコース) / 6月29日～10月27日：倉吉市(スイコー商会)	16人	3人
(2) テクニカルサポート	速習コース / 6月8日～7月3日：倉吉市(鳥取オンキョー)	10人	14人
	普通コース / 6月15日～9月10日：倉吉市(鳥取オンキョー)	10人	6人
(3) FPD関連エンジニア	6月3日～10月31日：鳥取市(鳥取大学電子ディスプレイ研究中心)	8人	4人
(4) アパレル	東部 / 6月1日～8月6日：八頭町(シバガーメント)	10人	6人
(5) 機械設備	東部 / 6月8日～9月2日：鳥取市(ポリテクセンター鳥取)	20人	23人
	中部 / 6月8日～9月2日：倉吉市(倉吉体育文化会館)	20人	6人
	西部 / 6月8日～9月2日：米子市(ポリテクセンター米子)	20人	15人

《参考》

1 鳥取県地域雇用創造協議会の構成

県、県教育委員会、市町村(鳥取市を除く)、大学、商工会議所連合会、商工会連合会、専門学校、産業技術センター等 38機関・団体で構成

2 地域雇用創造推進事業の概要

「とっとり高度人財『燦然』プラン」では約2,000人を対象に、県内企業のニーズに対応した技術系人材の育成や求職活動中の方の就職希望が多い事務系人材を育成し、約1,000人の就職を目指すことを主な内容としたもので、国(厚生労働省)の委託を受けて事業を実施。

(実施期間：平成20年12月17日～平成23年3月31日)

職業訓練のあり方検討会の開催について

雇用人材総室
労働政策チーム

県として、今後の職業訓練のあり方を抜本的に見直すため、以下のとおり有識者による検討会（「職業訓練のあり方検討会」）を設置し、協議・検討を行います。

1 職業訓練のあり方検討会の概要

- (1) 会議の名称 職業訓練のあり方検討会
 (2) 開催回数 5回程度（平成21年度）
 (3) 主な検討項目
 ○産業振興に役立つ人材の育成、重点的に人材を育成する分野を見据えた高等技術専門校の長期訓練等の見直しの検討。
 ○ポリテクセンターの県への移管、県立職業訓練施設との統合を含めた、地域別の職業訓練のあり方及び県による職業訓練の一元的な実施の検討。
 (4) 検討会委員 12名

所 属	役 職	氏 名
米子工業高等専門学校地域共同テクノセンター	セ ン タ ー 長	足立 新治
鳥 取 県 高 等 学 校 P T A 連 合 会	県立鳥取湖陵高等学校PTA会長	井上 芳弘
鳥 取 環 境 大 学	准 教 授	遠藤 由美子
鳥取県中小企業団体中央会鳥取女性中央会	会 長	衣笠 由美子
とっとり地域連携・総合研究センター	調 査 研 究 デ ィ レ ク タ ー	千葉 雄二
鳥 取 県 商 工 会 議 所 連 合 会	事 務 局 長	林 信男
労働政策研究・研修機構	研 究 員	藤本 真
鳥 取 短 期 大 学	教 授	松島 文子
鳥 取 大 学	教 授	宮近 幸逸
鳥取県産業教育振興会工業部会	部 会 長	山内 有明
日本労働組合総連合会鳥取県連合会	JAM山陰鳥取県協議会事務局長	吉田 正
鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会	部 会 長	吉野 恭治

(五十音順 敬称略)

2 検討会の開催予定（平成21年度）

○第1回検討会

- (日 時) 平成21年6月8日(月) 午後1時～
 (場 所) 県庁特別会議室（会議後、ポリテクセンター鳥取を視察）
 (議 題) 職業訓練の現状・問題点について
 ・県立高等技術専門校、ポリテクセンターの概要について
 ・今後の検討内容とスケジュールについて 等

○第2回以降

- ・倉吉・米子高等技術専門校等の関係施設の訓練状況の視察
 ・高等技術専門校の職業訓練の見直しについて意見交換、中間取りまとめ 等

[参 考]

※国によるポリテクセンターの移管方針（移管条件）の決定は、平成22年4月以降になる見通し。

〈ポリテクセンター移管方針決定前（平成21年度中）〉

⇒高等技術専門校の職業訓練の見直しの検討を中心に進める。

〈ポリテクセンター移管方針決定後（平成22年度以降）〉

- ・ポリテクセンターが県に移管される場合
 ⇒継続（拡充）する施設内訓練科の選別及び新設科の検討（職員及び施設・設備移管の必要性の検討と選別）
- ・ポリテクセンターが存続する場合
 ⇒県（高等技術専門校）とポリテクセンターとの連携及び役割分担の検討（想定：地区別訓練定員・訓練内容（委託訓練含む）、設備の活用など）

ソニー株式会社本社への知事訪問について

産業振興総室
企業立地推進チーム

今年3月12日に発表された、エプソンイメージングデバイス㈱とソニーモバイルディスプレイ㈱との中・小型液晶ディスプレイ分野での提携について、提携後の鳥取での事業継続及び雇用維持についての要請を行うため、下記のとおり知事がソニー株式会社本社を訪問しました。

1 訪問概要

- (1) 日時 5月29日(金) 午前8時30分～9時10分
- (2) 場所 ソニー株式会社 本社 応接室(港区港南1-7-1)
- (3) 訪問者 鳥取県知事 平井伸治 商工労働部長 門前浩司 東京本部長 川口正男
- (4) 対応者 ソニー株式会社 執行役 副社長 中川 裕
(エレクトロニクス事業の製造・物量・資材オペレーション担当)
業務執行役 SVP 原 直史
(広報・渉外・CSR 担当)

(5) 面談概要

[知事説明]

- エプソンイメージングデバイス㈱の地域における影響力、生産・技術力等、鳥取県におけるエプソンの重要性の説明。事業の継続、雇用の維持についての要請。(ソニー側も一定の理解。)
- 姫鳥線、ロシア航路、液晶人材育成の取り組み等、鳥取県の企業立地環境について説明。併せて、ソニー㈱が鳥取県での事業を拡大する際に地域においてできる限りの支援を行う旨説明。

[ソニー説明]

- 経済環境が劇的に厳しくなっていると同時に、ソニーも自ら厳しい状況を乗り越えようとしている。事業部門ごとに大幅な再編をしているところ。
- 中小型液晶のビジネスは世界的に厳しい。その一つとしてのエプソンとの提携。液晶は世界との競争の中で利益の出しにくい業種となっている。そのような中で提携協議は、ぎりぎりの折衝となっている。(今回は提携の中身について具体的な話は無かった。)
- 基本的に廃止は考えていない。どういう形で継続するか検討中であるが、ソニーの事業継続が大前提であり、能力に余るような引継ぎ方はしない。6月末に向けて最後の詰めを行っている。
- 知事の要請については理解した。提携の内容が決まったら説明させて頂く。

2 今後の対応方針

- 事業提携に係る協議の進捗状況を把握しながら、情報収集に努める。
- 時期をとらえながら、ソニー㈱とエプソンイメージングデバイス㈱へ事業継続及び雇用の維持等を働きかける。

[参 考] ソニーの中小型液晶ディスプレイ事業について

ソニー㈱は中小型液晶ディスプレイ事業に関して、低温ポリシリコンTFTにフォーカスしており、開発/設計/製造が一体となったソニーモバイルディスプレイ㈱に集約している。他方、エプソンイメージングデバイス㈱は、アモルファスシリコンTFT液晶と低温ポリシリコンTFT液晶の技術をもとに、高精細、広視野角技術など独自の技術を展開している。

次世代・地域資源産業育成事業の実施状況について

産業振興総室
新事業開拓チーム

1 平成21年度第1回募集の結果

- (1) 審査会開催日 平成21年5月25日
 (2) 採択状況 申請件数 6件 採択数 4件

[次世代産業育成分野]

企業名	事業計画の概要
(株) 沢田防災技研	大型シャッター補強材（軽量アルミ合金製）及び防災防犯雨戸（光透過樹脂製）の販路開拓

[地域資源活用分野]

(有) 米村木工	LED照明機器内蔵 高機能エコステッキの開発
(有) ひよこカンパニー	鳥取県の特産品を中心に加工した安心で安全な自然派食品の販路開拓（天美卵の殻・ズワイガニの殻・原木しいたけ）
光電気通信システム(有)	高出力を発生し、オリジナル拡散技術を用い広視野角をも確保した、独自開発LED照明「LEDスクエアライト」の販路開拓

【今後の予定】 第2回公募 6/22～7/31、第3回公募 10月頃、第4回公募 1月頃

2 これまでの採択状況等

(1) 採択状況

項目		H19年度		H20年度				H21年度	合計
		①	②	①	②	③	④	①	
申請件数	地域資源	1	4	3	9	7	7	4	35
	次世代	2	3	1	1	1	1	2	11
	小計	3	7	4	10	8	8	6	46
採択件数	地域資源	0	2	1	5	4	3	3	18
	次世代	0	2	1	1	1	1	1	7
	小計	0	4	2	6	5	4	4	25
(採択率)		(0%)	(57%)	(50%)	(60%)	(63%)	(50%)	(66%)	(54%)

(2) 主な具体的取組

- ブリリアントアソシエイツ(株)
 - ハタハタ加工品（「華鯨鱈」等）の商品化、ANAFESTA（西日本）「空弁」として採用
- (有) 佐々木山光園
 - 二十世紀梨を使ったジェラート、カレーの商品化、新店舗（砂丘）での販売拡大
- (株) シャルビー
 - 機能性化粧品（マリソラゲン、グルサミン、キチンキチオン等の県産原料を複合）の開発（今夏発売予定）

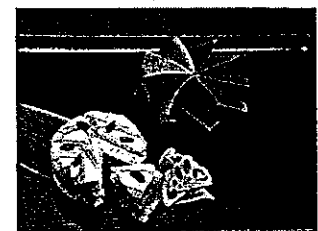
3 今後の課題

- 助成金採択後の事業実施フォロー、申請前ブラッシュアップの強化
- 製品等開発後の成果発表会、展示会等によるフォローアップ、
- 事例集作成、事例から成功・失敗要因等の分析、事業へのフィードバック 等

4 参考《事業概要》 *H19.6補正で予算化、同9月事業開始

地域資源（農林水産物、産地技術、観光資源、次世代資源）を活用した製品開発等を行う中小企業等の研究開発、販路開拓に要する経費の一部を助成する。（事業主体：(財)鳥取県産業振興機構）

- ◆ 次世代産業育成分野：10,000千円/年上限、2/3補助、2年以内
- ◆ 地域資源活用分野：3,000千円/年上限、2/3補助、2年以内



▲ 華鯨鱈（はなはたずし）